

「エネルギー削減診断手法」の特許取得について

平成18年「エネルギー マネジメント センタ」(EMC)を開設し、NTT都市開発(株)が所有するビルのBEMSデータについて分析・解析業務を行ってきました。

この度、EMCで開発した消費エネルギー削減診断手法について「日比谷総合設備(株)」と共同出願し、出願手法6件すべての特許を取得いたしました。

- 取得特許の概要は次頁をご覧ください -

お問合せ：PMサービス事業部 BM部門 ☎ 03-6384-0610

取得特許一覧

1. **建物のエネルギー供給についての契約値最適化診断手法**・・・平成26年2月21日（特許 第5480221号）
現状のエネルギーデータ及び今後の予測データから契約値を予測し、適切な契約値を推測する手法
2. **クールビズ・ウォームビズ診断手法**・・・平成26年2月18日（特許 第5521135号）
空調ゾーンの実測値からクールビズ・ウォームビズの実施状況を判別し、温度の設定変更指示が出来る手法。取り組み状況を数値化し、月毎、年毎の状況を見える化。
3. **冬期冷房設定温度の最適化診断手法**・・・平成26年3月18日（特許 第5518819号）
冬期の冷水使用システムを多い順に明示し、室内温度と設定温度を比較することにより室内設定温度と冷水削減可能システムの特定、節減指示ができる手法
4. **空調立上時刻診断手法**・・・平成25年7月26日（特許 第5325961号）
中間期の空調立ち上げ時間と始業1時間前の室温から、空調立ち上げ時間の遅延指示が出来る手法
5. **建物の消費エネルギー削減のための外気冷房診断手法**・・・平成25年7月26日（特許 第5325918号）
始業時前の外気温度と室内温度の差をから、外気冷房システムを指示できる手法
6. **建物の消費エネルギー削減のためのナイトパーズ診断手法**・・・平成25年7月26日（特許 第5325948号）
夜間の外気を計測し、外気温度と室内温度との差により、外気による冷房の可否を診断する手法